

ODJCのアメリカ武者修業



ニューオリンズ・ジャズ・ファンの夢の御殿とも言うべきプリザベーション・ホール

大阪方面を中心に地味な活躍を続けるアマチュア・ディキシー・グループ、ODJC（オリジナル・ディキシーランド・ジャズ・クラブ）の一行が7月7日約35日間の日程で本場ニューオリンズへ乗り込んだということは先月号で発表したからご記憶があるろう。その彼らからアメリカに於けるディキシーランド・ジャズの近況を知るための貴重な写真、みやげ話がどっさり届いた。なおみやげ話の方は本文 162頁をごらんください。





ディズニーランド内でファイアハウス5+2と福田君(tb)の競演。その左がカリフォルニアのニュー・オルリズ・ジャズ・クラブ会長のビル氏



空港に出迎えてくれたジョージ・ルイス一行とさっそく「聖者が街にやってくる」を競奏。



サンフランシスコでターク・マーフィを訪ねて。クラブの前で記念撮影。



コネチカットのトラディショナル・ジャズ・クラブの例会でのセッション。ジム・ロビンソン(tb)、キッド・シーク(tp)らの顔が見える。



ODJCの歓迎パーティーでワイルド・ビル・デヴィソンと共演。お客のほとんどがプレーヤーばかりだったという。



ブリザベーション・ホール内でジョージ・ルイスらと共に。リクエスト料がザ・セインツは5ドル、他は2ドルと壁にあるのが面白い。



ニューオーリンズの上流階級の社交場として有名なインターナショナル・ハウスにて

SJ誌が図書館に資料として揃っているというテイューレン大学内の夜間バレード。